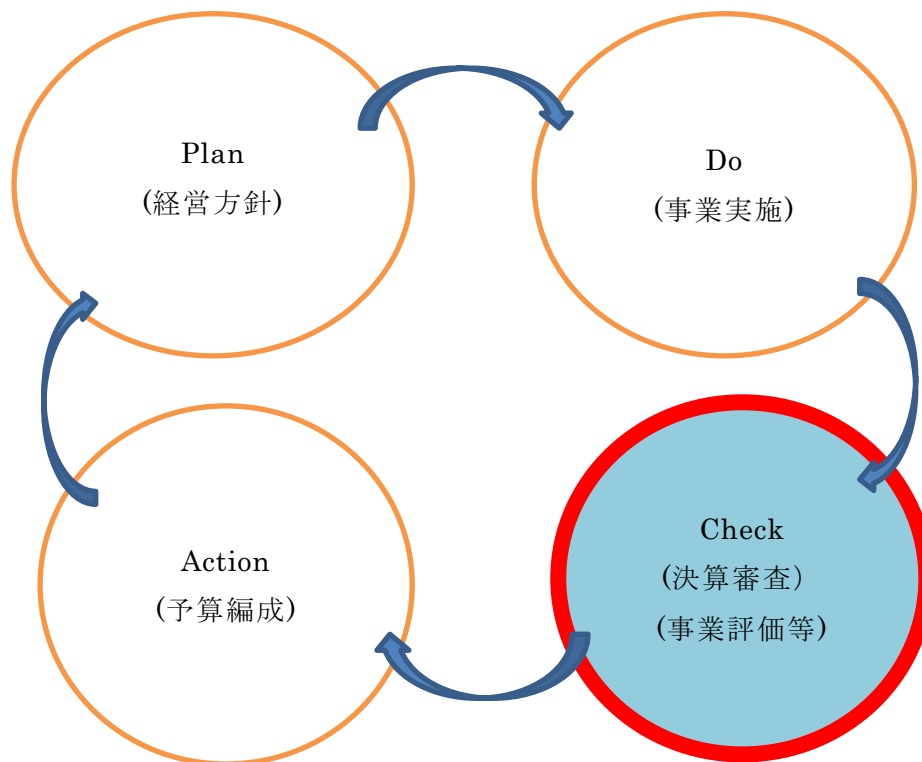


令和3年度 上下水道局 事業評価の実施結果について

1. 事業評価の目的

- (1) 水道事業・下水道事業それぞれの基本理念の実現に向けた企業経営を行うため、Plan『経営方針』⇒Do『事業実施』⇒Check『決算審査+事業評価等』⇒Action『予算編成』のマネジメントサイクルにおける「Check」部分を担うものとする。
- (2) 事業の妥当性・有効性・効率性などを検証し評価を行うことで、継続的に事業の改善や見直しを図り、次年度以降の事業展開に反映させる。
- (3) 評価結果のホームページでの公開などにより、各経営指標を含めて情報公開を進め、事業の透明性を高めることで、ステークホルダー（お客さまをはじめとする利害関係者）との信頼関係を構築する。



2. 令和3年度事業評価の実施について

(1) 概要

平成31年3月に策定した新たな水道・下水道ビジョンの基本理念や施策目標の達成に向け、PDCA マネジメントサイクルに基づく事業の進行管理を適切に実施するため、市長部局に沿った形で上下水道局独自で事業評価を行う。

令和2年度実施事業として、水道事業11事業及び下水道事業10事業の計21事業

を評価するとともに、評価結果を令和4年度予算編成に反映させる。

(2) 評価方法と結果

設定した成果指標の達成度や個別評価の項目等から、事業の総合評価を事業担当課において判定する。

評価は「拡充・維持・縮小・改善・統合・廃止・休止・完了」の中から選択する。

なお、評価結果は、ホームページに掲載するとともに、上下水道局経営管理課や市役所市民ロビー、各市民センター等において文書で公開する。

事業の方向性	評価基準	事業数	構成比率
拡充	<ul style="list-style-type: none">・市民のニーズや社会情勢から、事業を拡大していくことが適切と判断される事業・費用をかければ成果の向上が認められる事業・対象を拡大すれば、成果の向上が認められる事業	4	19.0%
維持	<ul style="list-style-type: none">・事業の目的を達成するためには、現状どおりの事業手段で維持することが適切と判断される事業	17	81.0%
計		21	100.0%

3. 今後の取組みについて

(1) 予算・決算との連携

事業評価結果を、目的達成のための事業の見直しや新規事業の立案に活用する。

(2) 各事業担当課における活用

事業の業務改善、ビジョンに定める施策の進行管理等、今後の事業展開の資料とする。